

中国語

皆さんもご存知の通り、近年、日本と中国の両国は政治面では様々な曲折や起伏を経験しています。しかし、日本と中国は一衣帯水の隣国としてこれまで培ってきた友好関係を土台に、文化的な交流が頻繁に行われていますし、経済面でも強い繋がりがあります。現在中国は「世界の市場」として、多くの日本企業が進出し続けています。また、中国人にとって今や日本は最も魅力的な観光地ですし、生活の場として日本に中長期滞在する中国人や、日本に進出する中国企業も増えました。

このような状況のもとで、これから大学で学び、卒業して、企業で仕事をする、あるいは資格を取得して専門的職業に就く、あるいは自ら起業してビジネスを展開する、などいずれの場合も中国という国や個人としての中国人と接する機会はますます多くなると思われます。そのため、経営学部で学ぶ学生の皆さんが外国語科目の中国語を選択履修する意義はきわめて大きいと言えるでしょう。

ここ数年、経営学部では新入生の約半数の学生が中国語を選択履修しています。その理由として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語だという点が挙げられるでしょう。中国語はなんといっても私たちも使っている漢字（花、草、火、社会etc...）で書き表すのが最大の特徴で、全く習ったことがなくともこれほど多くの単語の意味がわかってしまう言語など他には存在しません。文法に関しても、語形変化の少ない孤立語といわれるシンプルなタイプに属するので、人称代名詞や動詞などに煩雑な変化規則はありません。発音は当然日本語にはない音があり、少々難しいと感じるかもしれませんが、それはどの外国語でも同じですし、これまでの履修生も練習を経て上手になっています。

明治大学には多数の中国からの留学生がいることも、中国語の練習には有利な環境だと言えるでしょう。中国語を学べば彼らと中国語で交流することもできます。また協定校留学・認定校留学の制度を利用して、中国語圏の大学に留学して中国語の実力アップをはかることも可能です。

もちろん新たな外国語を学ぶのですから、それなりの努力は必要ですが、意欲があり、努力を惜しまない学生の皆さんのために、学識・経験豊富で実力ある日本人教員・中国

人教員が熱心にサポートします。1年次・2年次の2年間でしっかり実力がつく教育プログラムが用意されている他、自由選択の中国語コミュニケーション初級・中級・上級クラスも設置されていて、外国語運用能力の向上を目指す学生には幅広い選択肢が用意されています。結果、入学時にゼロから始めて実力を養成し、卒業後国内で中国語力を活用している、あるいは中国に駐在・滞在して中国語力を生かしている諸先輩も大勢います。

さあ、皆さん、私たちと一緒に中国語を学んでみませんか。